

板橋フレンドセンター事業実施報告について

区の不登校者数増加に伴い、通級登録者数が増えているフレンドセンターの不登校対応としては、いかにして、社会的居場所であるフレンドセンターに出てこられるようにするか、できるだけ長い時間(午前中から午後の時間まで)を過ごせるようにできるか、が、めざすところである。

子どもたちが、社会性とコミュニケーション能力を高めて、自信をもって次のステップに進めるように、様々な体験活動を実施しているが、今年度、新たな取り組みとして、以下の2事業を実施した。

記

1 フレンドセンター昼食提供事業

区内で飲食店を運営する事業者で子ども食堂への食事提供を行っている一般社団法人「りんごのたね」より、フレンドセンターにおける昼食提供事業の提案とともに、学習まんがシリーズの寄贈があった。おいしくて温かい昼食の提供は、子どもたちにとって通級における大きな楽しみであり、保護者にとっても、子どもが学校に行っていれば提供される給食の代替として、食事作りの負担軽減ともなる。第1回目は贈呈式を行い、出席した区長、教育長、都・区議会議員が9人の通級生と一緒にカレーを食べた。参加した中学生から「フレンドセンターには給食がないと思っていたのでうれしい。キッチンカーの日はセンターに来ようと思います」との感想があった。本取り組みは、都政新報で紹介された。

- (1) 第1回 令和4年5月25日(水) 12時15分～13時
- (2) 場 所 板橋フレンドセンター 1階プレイルーム
- (3) 内 容 キッチンカー「りんごのたね」(仮称)による「おからキーマカレー」(中板橋の豆腐店で廃業予定だったおからを使った食品ロス対策)の提供。今後、毎月最終水曜日の昼休みにフレンドセンターに来て、カレーライスや季節の食材弁当(未定)を提供する。※アレルギー対応のため成分表示のあるチラシを事前に保護者へ周知し、希望者を募る。
- (4) 費 用 子ども：無料、大人：原材料費 300 円
- (5) 参加者 第1回目は9人、第2回目(6月29日)は18人



2 よしもと漫才ワークショップ

東京板橋セントラルロータリークラブによる、令和2年度の電子ピアノ寄贈に続く、フレンドセンターの子どもたちへのプレゼントで、吉本興業が全国の小・中学校や社会教育施設などで行っている「漫才ワークショップ」を、不登校の子どもたち向けに開催した。SNSの普及などにより、人と直接コミュニケーションをとる習慣が欠けていると言われる昨今、コミュニケーションに役立つ要素が盛りだくさんの「漫才」を通じて、良好なコミュニケーションのノウハウをプロから伝授してもらい、社会的自立に必要な力を身に付けることを目的として実施した。当日は、教育長が出席して贈呈式を行い、本取り組みは、J:COMの地域情報トップで放映された。

- (1) 日 時 令和4年6月22日（水）9時30分～12時30分
- (2) 場 所 板橋フレンドセンター 1階プレイルーム
- (3) 内 容 漫才コンビ「天狗」による実演から会話のテンポ、表情、身振り手振りを学ぶとともに、コミュニケーションのきっかけづくりと、気持ちの良い笑いに変えるネタ作りを、ワークショップにより体感
- (4) 参加者 17人
- (5) セミナー終了後のアンケート(回答17人)
 - ・すごくいい経験になりました
 - ・みんなで話をつくるのが楽しかった
 - ・自分たちも参加できるのがおもしろかった
 - ・大喜利がたのしかった
 - ・はじめて、生で芸人さんを見て、思ったより、ぜんぜんおもしろかった
 - ・面白かった(3人)
 - ・とてもよかった
 - ・話し方が上手だった
 - ・ネタができてよかった
 - ・とてもおもしろく、さいこうだった
 - ・おわらいが好きだから、すごく楽しかった
 - ・芸人さんのトークをもう少し聞きたかった
 - ・生で見ることはないので、おもしろかった



担当:教育支援センター 教育相談係
☎ 3579-2195